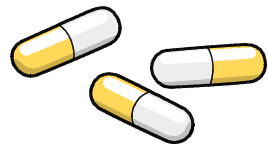


# あむーる

島根県立松江北高等学校  
第3学年 八幡英語通信  
2016年10月11日発行  
第16号

## No.16



大阪大学・薬学部一回生 野々村 端雅

## 先輩は語る<15>

こんにちは。今春から大阪大学薬学部で学んでいる野々村端雅です。北高時代については合格体験記である程度書いたのですが、今回は大学生活について書こうと思います。大学に通い始めて最初に抱いた印象は、広くて人が多い、というものです。とりあえず広いです。阪大はキャンパスに入るまでに阪大坂という長い坂を登って行く必要があるため教室に着いた時点で体力を大分消耗しています(笑)。北高前のどの坂よりもきついで、みなさん体力は今のうちから鍛えておきましょう。

…と、ここまで立地の話ばかりでしたが、そういう話が最初に出てくるほど、他のことについては思った以上に高校と似ています。「大学では自分で授業を決める」という印象を抱いて入学しましたが、薬学部で自由に決められるのはせいぜい5個でした。必修の授業が多く、既に決まっている授業が多いからです。後期に関しては2個だけ選びました。1限がある日も多く、朝だらけることはあまりできません(笑)ただ、出席を取るの授業は半分くらいなので休もうと思えば休むことは簡単ではあります。「自分の責任で行動しなければいけない」というのは本当だと実感しています。

次はバイトについて書こうと思います。私は個別塾の講師と家庭教師のバイトをしていますが、教えるってすごく難しいことだな、と日々実感します。難しいながらも、高校までは出来なかったことなので、働いてお金をもらうというのは少しだけでも新鮮な感じで嬉しいことです。色々な世代の人と関われるので、バイトは1回生の頃からするのをオススメします!

最後に、大学では人間関係の自由度が大きく変わります!色んな出身の人と関われるのはもちろん、一人でいたい人はとことん一人でいることも可能になります。全くないわけではありませんが、団体行動を強いられることはほぼなくなるので、私と同じような人は楽だと思います。もちろん、サークルや授業によっては集団で行動することは多いので、その方が好きな人にも楽しいですよ。

それでは、みなさんが北高時代を経て次のステップを最高のものにできるよう、離れたところからですが応援しています! ♥♥♥

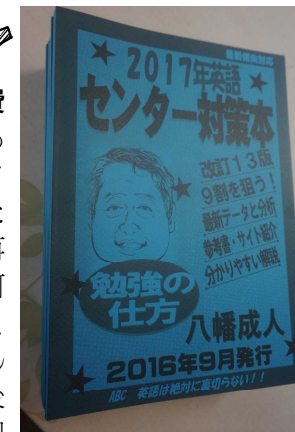


▲右が野々村さん

●コレでセンター対策はバッチリ!!●

# センター対策本完成!

お待たせしました!ようやく『2017年英語センター対策本』(自費出版)が完成しました。最後の最後まで、新しい情報を書き込んでいたもので、完成に時間がかかってしまいました。私の現在頭の中にあるセンター試験情報は、全て盛り込んだつもりです。教員生活40年の集大成となりました。前回の第12版で最後と思っておりましたが、はからずも再び現場復帰して3年生を担当することになり、目の前にいる生徒たちに何とか力を発揮できるようにとの思いを込めて、作りました。卒業生が多く夏休みに訪ねてくれて、「アルバイトに塾講師や家庭教師をやっているんだが、この対策本がとても参考になる」と言ってくれました。卒業した後もこうして使ってくれるのなら、破れたりしないように少し丈夫な紙に印刷しておこうと思い、印刷所の提案もあり、今回は上質の「コート紙」を使い、表紙もちょっと奮発しました。私の大好きなブルーです。



この本の中に、第1問の「発音・アクセント問題」の対策として4種類の「頻出語リスト」をつけておりますが、先日帰国したアメリカ人ALTのチェルシー先生に、全部の単語をポーズとともに発音してもらって、2枚組のCD「チェルシー先生、お願いします!」(下写真)を作りました。今まではこれをコピーしてiPodなどで繰り返し練習していましたが、これも手元に残る形で将来も使って貰おうと考えました。7月~9月にかけて私が全国を回って講演したときにも、このほかこのCDが好評で、欲しいという先生も多く、1枚1枚私のパソコンでコピーして提供しておりました。でももうダメ、自分の限界を超えたために、専門の業者さんにCDを複製してもらうことにしました(10月14日納品予定)。松江北高生だけには、特価の100円!でこの2枚のCDを販売します。



## お知らせ

# 近日発売予定!

▲センター対策本 800円  
▲発音・アクセント2枚組CD 100円

